

(8) 勾玉 教室（対象学年：3年生以上）

ね ら い	勾玉の由来を学習するとともに、勾玉を実際に作ることを通して、古代人の生活の様子に興味関心をもつ。
3つの基軸との関連性	・地域や伝統、文化を踏まえた教育

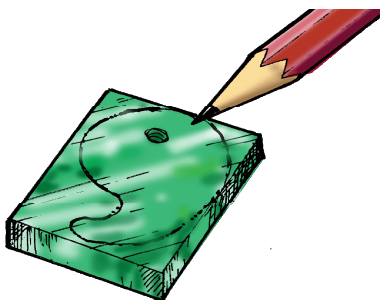
ア 学習プログラムの概要及び使用教材・教具

- 勾玉の起源や種類の紹介
 - 勾玉の起源は？
 - どんな時代？（縄文時代～）
 - 石の材料は？（滑石）
- 勾玉の作り方の確認し制作する

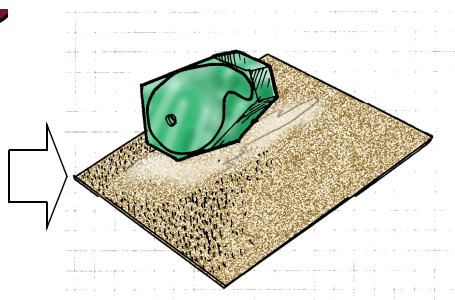


【滑石 かつせき】
やわらかい石で、紙やすりなどでも削ることができる。しかし低中学年は時間がかかる。

【管玉 くだたま】
親子で活動するときは、親に管玉を作ってもらおう。勾玉と一緒にひもで通す。



勾玉のデザインをする



紙やすり等でけずる




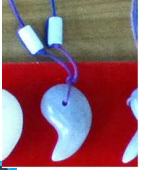

みがいて、ひもを結ぶ



勾玉について説明を受ける



親子で協力して制作

学 習 活 動	指 導 ・ 支 援 上 の 留 意 点	備 考
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <h2 style="margin: 0;">勾玉の歴史や種類について学習しよう</h2> </div>		
<ol style="list-style-type: none"> 1 勾玉の起源を考える。 2 時代背景を知る。 3 使われた材料及び石の種類を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ プレゼンテーションをしながら説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセサリーの意味は？ ○ 縄文時代の様子を説明する。 ○ 石の標本を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勾玉の実物 ○ 縄文時代の絵 土器など ○ めのう 水晶 滑石
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <h2 style="margin: 0;">勾玉の作り方を理解しよう</h2> </div>		
<ol style="list-style-type: none"> 1 滑石に鉛筆でデザインする。 2 紙やすりや棒やすりで滑石をけずる。 3 水につけて、耐水ペーパーなどで磨く。 4 ひもの結び方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな形の勾玉を紹介する。 ※ 削りやすい形もアドバイスする。 ○ 紙やすりの種類や使い方を説明する。 ○ 棒やすりの使い方を説明する。 ○ 耐水ペーパーの使い方を説明する。 ○ ひもの結び方を実演しながら説明する。 ※ 親子活動の場合～管玉の説明もする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 形を紹介するプリント ○ 3種類の紙やすり ○ 棒やすり  <ul style="list-style-type: none"> ○ 管 玉 
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <h2 style="margin: 0;">自分で考えたオリジナル勾玉を作ろう</h2> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナルのデザインを考え、制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互い鑑賞し合いながら、制作させる。 ○ うまく制作できない子にはアドバイスしながら進める。 	

ウ 感 想 ※先生 ☆児童生徒

※古代の生活様式にふれながら勾玉を作る作業では、一人ひとりに優しく声をかけながら懇切丁寧に指導していただいたおかげで、子どもたちは自分の思いをこめた勾玉を作ることができました。

誇らしげに勾玉を首からかけて帰る子どもたちの表情は満足感でいっぱいでした。

☆勾玉を実際に作れたことが私はとてもうれしいです。昔からあるアクセサリーを作れて楽しかったです。

☆勾玉作りは意外と力がいる大変でした。でもその分、作るとつるつるキラキラしてとてもきれいでした。これから毎日勾玉をみがいてきれいにしたいです。一生の宝にします。

